

夏秋キュウリのアブラムシ被害軽減のための定植時期

福島県農業試験場病理昆虫部
平成17年度試験成績概要

1 部門名 野菜－キュウリ－病害虫発生、病害虫防除
分類コード 03-01-22230000

2 担当者 中村淳・佐々木正剛

3 要 旨

夏秋キュウリの有機栽培において、定植を5月下旬、6月上旬および中旬に行い、アブラムシ類（ワタアブラムシ主体）の発生推移を露地ほ場において調査した。

（1）無翅アブラムシは、定植時期に関わらず6月下旬から7月上旬にピークとなり、その後減少に転じ7月下旬以降寄生はほとんどなかった。また、寄生数は定植時期が遅いほど少なかった。

（2）アブラムシ類を捕食する土着天敵のクサカゲロウ類およびヒメハナカメムシ類は、7月上旬以降急増しており、アブラムシ類の密度抑制に大きく寄与しているものと考えられた。

（3）以上の結果から、露地夏秋キュウリの有機栽培を行う場合、アブラムシ類による被害を軽減するためには、定植時期を遅らせることが有効な対策であると考えられた。

4 その他の資料など